

⑤技術向上に励む加工現場



④30年間発刊続ける社内新聞



本社：大阪市鶴見区浜2-2-81  
電話：06・6911・1183  
代表者：和泉康夫社長  
創業：1953年  
従業員：73人  
事業内容：超精密金型部品、機能性金型部品、金型製作、自動機など。

## Company 35 新日本テック

# 金型の課題解決業 産学連携でネットワーク構築

日本の金型は、強く、たくましい

## 金型の底力 sokodikara!!



和泉 康夫社長

超精密金型部品や機能性金型部品、金型製作（プレス・モールド）を手掛ける新日本テックは設備や配管内に溜まった水垢（スケール）を除去する金型用水あか防止洗浄液を開発した。射出成形金型の温調水を流す配管のスケール除去などに有効だ。同社はモノづくりの現場や金型に関連する課題を解決することをテーマに、新製品の開発や産学連携でネットワークを構築し、技術向上や人材育成など新たな可能性を追求している。

「これからはモノづくりの課題解決を目指す必要がある時代だ」と和泉康夫社長は語る。1953年にスライドフラスナーメーカーとして創業し、ドイツ製プロフィール研削盤を導入するなど超硬合金の精密加工に取り組んできた。現在、平面研削盤など7畿国家技能士が13人在籍し、精度2μm保証の超精密金型部品の柱に、独自のPCD（焼結ダイヤモンド）砥石による鋼面研削加工など他社では出来ない加工技術強化するほか、現場の課題を解決する機能性金型部品（商標登録）の開発に力を入れる。

機能性金型部品とは現場の課題解決を図る製品の総称。代表例が超硬合金（C/C）比、50倍の長寿命を持つ『ダイヤモンド金型部品』、プレス加工の課題であるかす上りを防止する『かす上り防止レーザ加工』（特許取得）『かす上り防止レーザ加工』は金型タイプの切れ刃にレーザ加工で凹凸を付けることで、通気溝や抜きかすを保持する機能を設け、かす上りの発生率を大幅に軽減。遮熱ハットは成形ノズルと金型のスプール

「金型は技術開発の基礎」と和泉社長は説く。「なぜ、金型であるのか、それは次のモノづくりの課題が見えてくるから」とし、技術開発を行う上で5現主義に基づき考察。「本来あるべき姿を追求する。厳しい公費や捻入はなぜ必要か、生産性の向上が必要なら時代に金型はどうあるべきか」と自問し、ユーザーのユーザーまで視野を広げ、見えないニーズを掘り起こす。その課題が自社技術で難しければ、他の企業や大学、公設試験研究機関と連携し解決策を模索。2010年には大阪ケイネスを設立し、他の製造業と人材育成や技術開発で連携。「インベション」とは深掘と探

「金型は技術開発の基礎」と和泉社長は説く。「なぜ、金型であるのか、それは次のモノづくりの課題が見えてくるから」とし、技術開発を行う上で5現主義に基づき考察。「本来あるべき姿を追求する。厳しい公費や捻入はなぜ必要か、生産性の向上が必要なら時代に金型はどうあるべきか」と自問し、ユーザーのユーザーまで視野を広げ、見えないニーズを掘り起こす。その課題が自社技術で難しければ、他の企業や大学、公設試験研究機関と連携し解決策を模索。2010年には大阪ケイネスを設立し、他の製造業と人材育成や技術開発で連携。「インベション」とは深掘と探



新たなデジタルプロフィール研削盤を導入

### 会社の自己評価シート

顧客の課題解決につながる製品を開発する同社は「技術力」「チーム力」「設備力」などに高い評価。変化の激しい時代の中で、新たな設備投資も計画し、「変化に対応する力」「未来に投資する力」も高い。次は発信力を高めたいと一手を検討。



「金型は技術開発の基礎」と和泉社長は説く。「なぜ、金型であるのか、それは次のモノづくりの課題が見えてくるから」とし、技術開発を行う上で5現主義に基づき考察。「本来あるべき姿を追求する。厳しい公費や捻入はなぜ必要か、生産性の向上が必要なら時代に金型はどうあるべきか」と自問し、ユーザーのユーザーまで視野を広げ、見えないニーズを掘り起こす。その課題が自社技術で難しければ、他の企業や大学、公設試験研究機関と連携し解決策を模索。2010年には大阪ケイネスを設立し、他の製造業と人材育成や技術開発で連携。「インベション」とは深掘と探